

QDT

Quintessence of Dental Technology

No. 5
May
Volume 27
2002

5

www.quint-j.co.jp/

Masterpiece

IPS d.SIGN による前歯部12歯のポーセレン・ラミネートベニア修復

Horst Mayer/Oliver Brix

特別企画

Optimal Tooth Shade Verification Technique

—新しく開発された ShadeEye NCC と新しい NCC シェード—(第二章)

浅野正司/(監修)山本 眞

Special Article from Germany

アバットメントのポジション・トランスファー

—レジンで製作する Ankylos システムのためのトランスファー・キー—

Michael Pampel

連載

オーバーデンチャーを再考する

その1 オーバーデンチャーの適応

前田芳信





Special Article from Germany



アバットメントのポジション・トランスファー
—レジンで製作する Ankylos システムのためのトランスファー・キー—

Michael Pampel, Dr. Zahnarzt

Tätigkeitsschwerpunkt Implantologie (BDIZ)

Positionsübertragung von Implantat-Abutments
— Übertragungsschlüssel aus Kunststoff für das Ankylos-System —
Dr. Michael Pampel, Zahnarzt,

Tätigkeitsschwerpunkt Implantologie (BDIZ)
DKetschendorfer Str. 24, D-96450 Coburg, Germany
E-Mail: info@Dr-Pampel-Coburg.de+Praxis@Pampel.de

KEY WORDS: インプラントおよびアバットメントのポジション、トランスファー・キー、
方法、精度、作業時間の短縮、コストの節減

はじめに

インプラント補綴は、特別な手法、高い精度および歯科医師と歯科技工士の密接な協力関係とコミュニケーションを要求する^{38,39,57,62}。

本稿に紹介するトランスファー法では Ankylos インプラント (Degussa Dental) およびそのアバットメント (Standard, Balance および Permador) を使用する。これは、審美的なインプラント支持型補綴物の製作に理想的に適する、精密で安定度の高い理想的なインプラント・システムである^{5,7,9-11,40,41,61}。

オッセオインテグレーションしたインプラントは、生理的に動揺する、あるいは動揺度が病的に高くなった天然歯とは異なり、剛直で動揺しない。したがって歯科医師および歯科技工士の操作、とくに口腔-模型間のトランスファーにおけるインプラント・システム構成要素のポジション決定および固定操作には、高い精度が要求される。精度的欠陥の修正は、重大な短所を伴うことなしには不可能であ

る。インプラント支持型、とくに多数のインプラントを支台とするインプラント補綴、およびインプラント-歯牙支持型補綴は、歯科医師にも歯科技工士にもミスを許さない。

適合部に生じる間隙がミニマムであることは、高い精度と安定性の尺度である。Ankylos システムのインプラント-アバットメント間に許容される適合誤差はおよそ $10\mu\text{m}$ であるが、これは適合構造がコーヌス形で着脱が可能のためである。

アバットメント-クラウン間の適合精度は、これを重視する歯科技工士であれば誤差およそ $25\mu\text{m}$ まで実現可能である。

通常のクラウンおよびブリッジ修復においては、適合誤差がそれぞれおよそ $50\mu\text{m}$ 、 $100\mu\text{m}$ であれば、適合性が最高度であると評価されてきた。ここで言う適合誤差とは、鑄造した外側構造がこれに適合する内側構造に対し全体的に大きくなるために生じる。このマイクロ間隙の最終値は、歯科技工士がマ